



本号の内容

- ・ひらめき ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI開催
- ・信託研究公開講座開催
- ・セーフティプロジェクト学内パトロール実施
- ・業務改善に関する勉強会実施
- ・産学交流セミナー筑波大学研究交流会・科学技術相談会開催
- ・農産物を附属病院で出張販売
- ・農林技術センター収穫祭開催
- ・特別支援教育研究センター主催シリーズセミナー特別支援教育の最前線開催
- ・第9回国立大学法人機器・分析センター会議開催
- ・附属桐が丘養護学校JICAに協力
- ・年末・年始における文書等の学内集配及び郵便物発送
- ・交通事故等の防止
- ・第10回「米百俵賞」候補者推薦
- ・「相撲観戦」参加者募集
- ・共済積立貯金「払いもどし・解約請求書」等の12月提出期限
- ・授業の曜日振替
- ・平成17年度第5回自然学類化学セミナー開催
- ・アフガニスタンの障害児教育に関する講演会開催
- ・第1回東アジア加速器質量分析国際シンポジウム，第8回加速器質量分析シンポジウム開催
- ・第32回リスク工学研究会開催
- ・筑波大学と附属小中高等学校体育・保健体育科合同研究会開催
- ・第10回茗溪・筑波ランドフェスティバル開催
- ・各種表彰等
- ・教育研究等の成果情報提供願ひ
- ・平成17年11月に制定された法人規則等一覧
- ・平成17年度福利厚生施設冬季休業期間営業日程表

2005 22

2005年22号（通巻1114号）

発行：筑波大学

編集：総務・企画部

発行日：平成17年12月14日

「こぶじめのお刺し身」を病院食として提供

- 附属病院 -

附属病院では、入院されている患者さまの健康を取り戻すために食欲増進が重要と考え、「癒しの食」という観点から、食事の環境、食質の整備に努力しています。さらに、おいしく食べていただける工夫を行い、残食率を減らすことで栄養状態の早期改善を図り、効率的な医療効果の向上を目指しています。

このたび、日本人が長年かけて作りあげてきた、米、大豆、魚、野菜、海草を中心とした和食の食性である「穏やかに食べていただける」ということに注目し、食事療法上問題がなく、ご希望のある患者さまに対して、病院食の選択食として「こぶじめのお刺し身」の提供を、12月7日の昼食から開始しました。来年3月までの期間限定で月1回提供します。

開始当日、患者さまから早速「味加減もちょうどよく、大変おいしくいただきました。」「うれしかったです。今後も続けてもらいたいです。」などのお声をいただき、非常に好評でした。

お刺し身は、病院食としては衛生管理上非常に提供しにくいものであり、全国的にも極めてめずらしい取り組みです。

「こぶじめ」という調理方法を取り入れ、富山県の産地から真空パックで直送することにより、家庭での食事に近い「癒しの食事」の提供が実現しました。

今後も、日本古来の食文化を取り入れながら、患者さまにおいしく食べていただける食事メニューを工夫していきます。



こぶを開いた状態の刺し身（カジキ）



「こぶじめのお刺し身」入りの病院食弁当



盛付けの様子

(独)日本学術振興会研究成果の社会還元・普及事業「ひらめきときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKEN-HI」が開催される

全体講義の様子



班別デモ実験風景



修了式



数理物質科学研究科では、関係学類等との連携協力のもとに、12月3日、総合研究棟B等を会場に、中学生・高校生を対象としたプログラム「ひらめきときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKEN-HI」を開催しました。

この事業は、科学研究費補助金による研究成果をわかりやすく発信することを通じて、我が国の将来を担う中等教育課程（中学校・高等学校）の生徒の知的好奇心を刺激し、心の豊かさや知的創造性を育むこと等を目的とした、(独)日本学術振興会の「研究成果の社会還元・普及事業」を、筑波大学が受託して行ったものです。

当日は、近隣の中学生と高校生64名及び保護者等の参加があり、午前は講義（3テーマ）の受講、午後は8班に分かれての実験体験等が行われ、生徒たちはわかりやすい講義やデモ実験に強い関心を示していました。プログラム終了後修了式が行われ、水林博研究科長から参加した生徒たち一人ひとりに「未来博士号」が授与されました。

信託研究の公開講座を秋葉原キャンパスにて開催

公開講座が開催された東京キャンパス秋葉原地区（ダイビル）

新井誠教授（ビジネス科学研究科、法曹専攻（法科大学院））を代表とする信託研究会は、10月から約2ヵ月間にわたり、三菱信託山室記念奨学財団の研究助成による「信託の現状と将来」と題する公開講座を計11回開催し、無事終了しました。



公開講座最終回の講演を行うジャパン・デジタル・コンテンツ信託株式会社土井宏文社長



証券化や信託法改正、高齢者の財産管理など様々なテーマについて各専門分野の研究者や実務家が、一般向コース（土曜日14:00から）と実務家コース（水曜日19:00から）に分けて講義し、学生や社会人を中心に延べ300名を超える参加者が熱心に受講しました。

平日の勤め帰りや土曜日の午後にもかかわらず、多数の参加者が来場したことは信託への関心の高さもありましたが、交通至便な東京キャンパス秋葉原地区での開催という参加者にとっての利便性が大きく貢献したようです。今回の信託研究の成果は何らかの形で出版することも検討し、来年度の公開講座開催も含め引き続き信託の社会における役割や重要性を啓発する活動を予定しています。

筑波大学セーフティプロジェクト平成17年度第3回及び第4回学内パトロールを実施

- 総務・企画部総務課 -

12月1日及び5日の両日、セーフティプロジェクトと学生担当教員室が実施した安全キャンペーン週間にあわせて夜間の学内パトロールを実施しました。今回は、冬の寒い時期にもかかわらずボランティア登録をした教職員及び学生36名が参加し、一の矢、平砂、追越学生宿舎、春日地区を中心に、通行中の学生・教職員に対して安全を呼びかけ、暗い危険箇所を確認を行いました。今後も、月2回程度



夜間パトロールの様子

の夜間パトロールを実施しますので、参加を希望される方は、総務・企画部総務課総務係（TEL2025）までご連絡ください。

業務改善に関する勉強会を実施
- 組織・人事部組織・定員課 -

大学運営の実質化・効率化を図るため、教職員の業務の質向上を目指す「業務改善推進本部（本部長：学長）」が設置され、全学的な業務の見直し・改善のための取り組みを開始しました。

その一環として、全学的に業務改善に関する意識の醸成を図り、具体的な改善活動推進の一助とするため、国立大学協会、国立大学財務・経営センターにおけるトップマネジメントセミナーや他大学においても数多くの講演を行っている吉武博通



講演を行う吉武博通学長特別補佐

学長特別補佐を講師とし、「業務改善に関する勉強会」を11月10日、14日、29日、12月5日、6日に学内（東京キャンパスを含む。）5カ所において実施しました。

勉強会には、延べ約460名の教職員が参加し、講話を通じ、業務改善の考え方や方法論について、教職員一人ひとりの理解を深めました。

産学交流セミナー - 筑波大学研究交流会・科学技術相談会 - を開催 - 研究事業部産学連携課 -

11月22日、15:00から西京信用金庫本店（新宿区）において、第3回産学交流セミナー - 筑波大学研究交流会・科学技術相談会 - を開催しました（参加者約110名）。この産学交流セミナーは、筑波大学の研究成果を企業に公開し、大学と企業との共同研究や、大学の研究成果の企業への技術移転の促進を図るため、西京信用金庫と共催で行われたものです。

斉藤昭雄西京信用金庫理事長の開会のあいさつの後、谷田貝豊彦産学リエゾン共同



産学連携の取組みを紹介する谷田貝豊彦センター長

研究センター長から、筑波大学の産学連携の取り組みについて紹介がありました。引き続き、中内靖 助教授（システム情報工学研究科）から「環境知能化によるインテリジェント・ホームオートメーションシステム～ユビキタスセンサによる調理作業支援システムの開発を通じて～」、佐藤誠教授（人間総合科学研究科）から「睡眠時無呼吸症候群スクリーニングの意義と全国展開への夢」について、それぞれ研究紹介が行われました。



講演する佐藤誠教授

科学技術相談会では、事前に申込みのあった2件の相談について、技術移転マネージャーの林良夫氏及び藤田尚徳氏が対応しました。第3回ということもあり、参加者側にも産学連携に対する積極的な姿勢が見られ、また、研究紹介が大変わかりやすい講演であったため、その後の交流会においては、参加者による活発な交流が行われました。



講演する中内靖助教授

農産物を附属病院で出張販売
- 農林技術センター -

農林技術センターでは、9月から月2回（第一・第三水曜日）、附属病院の協力を得て、セラピーガーデンで農産物の出張販売を行っています。

この販売は、患者サービスと地域貢献、そして同センターをもっと一般の方々に広く知ってもらうために行っているもので、販売日には、いつも開店時間（12:30）



農産物の販売風景

前からお客さんが沢山訪れ、好評のうちに完売しています。
同センターでは、今後もこの出張販売を続けていく予定です。

農林技術センター収穫祭が開催される

11月25日に、農林技術センター恒例の収穫祭が行われました。
岩崎洋一学長をはじめ、工藤典雄副学長、油田信一副学長、井上勲生命環境科学研究科長、学内要職者、同センター教職員など関係者約70名が参加して、1年間の収穫に感謝し、懇談しました。



来賓挨拶をする岩崎洋一学長

特別支援教育研究センター主催 シリーズセミナー特別支援教育 の最前線(3)が開催される

11月26日、附属小学校講堂を会場として、特別支援教育研究センターがシリーズ化している「特別支援教育における関係機関連携の課題と展望 - 個別の教育支援計画を巡って - 」をテーマとしたセミナーが開催されました。当日は、瀧本寛文部科学省特別支援教育課長をはじめ、学内外から延べ約150名の参加を得て、質の高い討論が展開されました。

午前の部においては、「地域福祉の立場から特別支援教育に期待すること」と題して、滋賀県湖南市(旧甲西町)の地域福祉ネットワーク構築に尽力されてきた中村良氏(滋賀県社会福祉事業団)の基調講演がありました。

午後から、「支援体制と関係機関連携に基づいた個別の教育支援計画」をテーマとしたシンポジウムを行い、朝野浩氏(京都市立西総合養護学校長)、岩本弘子氏(石川県教育委員会学校指導課課長補佐)、針持哲郎氏(仙台市教育委員会教育相談課主任指導主事)に、それぞれの地域での先駆的な取り組みの報告をもとに、機関連携等の課題に関する話題の提供を受けました。

最後に、特別支援教育研究センターの安藤隆男教授を司会とし、「特殊教育の成果の蓄積と個別の教育支援計画」というテーマでのシンポジウムを行い、「連携」をキーワードとした今後の特別支援教育の在り方や、教員の専門性の維持・向上等に関する意見交換等が行われました。



シンポジストによる話題提供の様子

このシリーズセミナーに関しては、毎回遠方から参加する方も多く、実施後のアンケート調査では、今後も継続して開催してほしいといった要望が寄せられました。特別支援教育体制への移行期を迎え、地方の教育委員会等からの特別支援教育研究センターに対する期待の高さを伺うことができました。

第9回国立大学法人機器・分析 センター会議が開催される - 研究基盤総合センター -

第9回国立大学法人機器・分析センター会議が、12月2日、全国43国立大学法人の機器・分析センター長等の出席のもと、筑波大学を当番校として開催されました。

会議では、冒頭、筑波大学の油田信一副学長、青木貞雄研究基盤総合センター長から挨拶があり、次いで文部科学省研究振興局学術機関課庶務・研究設備係山本主任から平成18年度概算要求の概要及び今後の学術研究設備についての在り方等について説明、質疑が行われ、協議事項である法人化後の現状と将来、分析機器の充実の方策及び大学間での分析機器の相互利用等について、活発な意見交換が行われました。



附属桐が丘養護学校がJICAに
協力

11月2日,(独)国際協力機構(JICA)の国際協力事業の1つである「障害者リーダーコース研修」を受けるために来日していたパレスチナ人、アブ・ジャヤル・サミール・ジー・アイ氏とカンディール・サッハール・ハデル氏が、附属桐が丘養護学校を見学し、同校の歴史と役割、教育研究活動等について説明を受けるとともに、授業風景などを参観しました。

また、11月29日、30日の両日は、JICA筑波国際センターからの依頼で、ラスリ・M・ナイーム講師(アフガニスタンカブール教育大学、特殊教育学科)が同校で研修しました。

どちらの国の方々も、通学児童生徒のキャンパスと、病院施設に併設するキャンパスの両方の授業見学をし、校務分掌部の構成と役割など、学校経営に関わる観点や、教育課程や授業の実際、学校行事等の教育活動に関する観点から、非常に熱心に、



アフガニスタンカブール教育大学

多くの鋭い質問をされていました。

両国の様々な障害を持つ子ども達の教育体制の整備充実のために、同校は筑波大学附属学校の1つとして、国際貢献の一助をなしたと自認しています。それぞれの自国における障害者教育の向上を志す、熱い思いを感じました。

年末・年始における文書等の学
内集配及び郵便物の発送につい
て

文書等の学内集配及び郵便物の発送について、年末にあっては12月28日(水)午後の便をもって終了とし、年始にあっては1月4日(水)午後の便から再開します。

なお、12月29日(木)から1月3日(火)までに筑波学園郵便局に届いた筑波大学あての郵便物は、局留となり筑波大学まで配達されませんので、緊急に受領する必要がある場合は、同郵便局の窓口(集配課:TEL851-9225)に問合せのうえ、職員証等を呈示して直接受領願います。

交通事故等の防止について
- 組織・人事部人事課 -

交通事故及び交通法規違反の防止については、従来から注意を呼びかけてきたところであります。

これから年末年始の時期を迎え、飲酒の機会が増えると思われませんが、「飲んだら乗らない! 乗るなら飲まない!」ということを徹底し、交通事故や交通法規違反等の未然防止に努めてください。

万が一事故等を起こし、道路交通法違反による行政処分及び刑事処分を受けるような場合は、所属の長あて遅滞なく報告願います。

なお、飲酒又は酒気帯び運転及びこれに伴う交通事故の場合は、特に厳正な懲戒処分等の対処が求められております。

第10回「米百俵賞」候補者推
薦について

- 組織・人事部人事課 -

財団法人長岡市米百俵財団から第10回「米百俵賞」候補者の推薦依頼が、次の募集要項のとおりありましたので、お知らせいたします。

なお、被推薦者がある場合は、組織・人事部人事課福祉第一係(TEL2097, 2098)までご連絡ください。

募集要項

対 象：教育、文化、福祉、スポーツ、産業等の分野において、独創的な活動により人材の育成に大きく貢献し、「米百俵」の精神を今に体现する個人又は団体。表彰は、原則として1名又は1団体とします。(国籍、居住地は問いません。)

賞 賞：表彰楯、副賞(賞金100万円)

募集締め切り：12月27日(火)

推薦方法：所定の推薦書により推薦してください。

選考方法：推薦のあった個人・団体の中から長岡市米百俵財団の米百俵賞選考委員会において受賞者を選考します。

表 彰：平成18年6月15日「米百俵デー」に行います。

「相撲観戦」参加者募集
- 組織・人事部人事課 -

教職員レクリエーション行事の一環として、「相撲観戦」を実施しますので、是非ご参加ください。

期 日：平成18年2月5日（日）11:00～17:30
場 所：国技館（墨田区横網1-3-28）JR総武線 両国駅より徒歩2分
内 容：第30回大会日本大相撲トーナメント スケジュールは予定
11:00 開場 十両土俵入り
十両トーナメント戦
相撲普及講座
幕内土俵入り
横綱土俵入り
幕内トーナメント戦
17:30 打出し（終了）

募集人数：70名

対象者：筑波キャンパスの教職員（非常勤職員を含む。）及びその家族

個人負担金：	マスA席	イスA席
教職員	6,000円	3,000円
被扶養者	7,000円	3,500円
上記以外の家族	9,350円	4,900円

被扶養者とは、共済組合員証に記載された家族（3名まで）です。

申込方法等：12月22日（木）までに所定の申込書に必要事項を記入のうえ、申し込んでください。マスA席は、原則として4人一組で申込のこと。（教職員・家族等の組合せは問わない。）

なお、申込者が多数の場合は、抽選により決定します。

参加決定後の辞退は出来ません。

問合せ先：組織・人事部人事課福利厚生室福祉第一係（TEL2097, 2098）

共済積立貯金「払いもどし・解約請求書」等の12月提出期限について

共済積立貯金「払いもどし・解約請求書」等の共済組合係への提出期限は、毎月末日となっておりますが、平成18年1月25日の入金を希望される方は、年末年始の祝休日の日程上、組織・人事部人事課福利厚生室共済組合係に、12月20日（火）必着で提出してください。

授業の曜日振替について
- 学務部 -

授業日数確保のため、次のとおり振替になっていきますので、ご注意ください。
第3学期：平成17年12月22日（木）は、金曜日の授業を実施
平成18年2月21日（火）は、金曜日の授業を実施

平成17年度第5回自然学類化学セミナーの開催について

自然学類では、次のセミナーを開催します。最先端の化学について分かりやすく解説されますので、一般の方のご来聴を歓迎します。

日 時：平成18年1月13日（金）6時限（16:45～18:00）

場 所：第一学群H棟1H101

演 題：有機保護金クラスターのサイズ特異的な構造と物性

講 師：佃達哉助教授（自然科学研究機構・分子化学研究所）

担 当：世話人 数理物質科学研究科化学専攻 寺西利治（TEL4011）

問合せ先：化学専攻 西尾建彦（TEL6921）、守橋健二（TEL4223）

アフガニスタンの障害児教育に関する講演会の開催について
- 教育開発国際協力センター -

アフガニスタンの障害児教育に関する講演会を開催します。講演者はJICA（国際協力機構）派遣短期研修生として同センターで研修中のカプール教育大学障害児教育学部のモハド・ナイーム・ラスーリ講師です。アフガニスタンの障害児教育はいまだに十分に整備されていませんが、公立の盲学校1校と私立の聾学校1校があります。そのほかに国際的な援助団体の支援を受けた小規模の障害児教育のための学校（テントの教室もあります。）があります。日本をはじめ国際機関の援助で運営されているカプール市内の私立聾学校を中心にビデオや写真をまじえてアフガニスタン

の障害児教育について講演していただきますので、ふるってご参加ください。

日 時：12月21日（水）13:30～16:00

場 所：人間系学系A棟101

講 演 者：モハマド・ナイーム・ラスーリ講師（カブール教育大学障害児教育学部，
JICA短期研修生）

通 訳：アマディヤール M. ジャファール氏（（財）日本国際協力センター）

演 題：アフガニスタンにおける障害児教育の現状

問合せ先：竹内康二研究員（E-mail: takeuchi@criced.tsukuba.ac.jp）

教育開発国際協力センター（TEL7287）

第1回東アジア加速器質量分析
国際シンポジウム及び第8回加
速器質量分析シンポジウムの開
催について

- 研究基盤総合センター
応用加速器部門 -

研究基盤総合センター応用加速器部門では、次のシンポジウムを開催します。皆さまの参加をお待ちしています。

日 時：平成18年1月26日（木）10:00～28日（土）14:00

26日10:00～27日11:00

First East Asian International Symposium on Accelerator Mass Spectrometry
（第1回東アジア加速器質量分析（AMS）国際シンポジウム）

27日13:30～28日14:00

8th Symposium on Accelerator Mass Spectrometry (Japan)

（第8回加速器質量分析（AMS）シンポジウム（日本））

場 所：総合研究棟B公開講義室（B0110室）及びプレゼンルーム（B0108）

参 加 費：1,000円（要旨集及び報告集代を含む。学生は無料）

主 催：研究基盤総合センター応用加速器部門，国立歴史民俗博物館・学術創成
研究グループ，AMS研究協会

共 催：高エネルギー加速器研究機構放射線科学センター，日本放射化学会

開催要旨：加速器質量分析（Accelerator Mass Spectrometry; AMS）は加速器を用いた学際応用研究として、最近その利用が急速に発展しています。例えば14C（炭素14）年代測定による考古学，文化財科学をはじめ，地球・環境科学分野等の多彩な分野で利用されています。シンポジウムでは，AMS研究が急速に発展しつつある東アジア諸国の研究者も招聘し，AMSの施設現状，技術開発，応用研究等の幅広い分野について研究発表，意見交換をおこなう予定です。

問合せ先：シンポジウム事務局

研究基盤総合センター応用加速器部門 笹公和

（TEL2494（2491），FAX2565，E-mail：ams8@tac.tsukuba.ac.jp）

詳細は，次のホームページをご覧ください。

U R L：http://www.tac.tsukuba.ac.jp/ams8/

第32回 リスク工学研究会
（RERM）の開催について

日 時：平成18年1月10日（火）18:00～20:00

場 所：総合研究棟B 1F公開講義室

18:00～19:00

題 目：Bringing Designs, Codes and Cryptography Together

講 演：繆瑩（Ying MIAO）氏（システム情報工学研究科，社会システム・マ
ネジメント専攻）

担 当：イリチュ（佐藤）美佳（リスク工学専攻）

19:00～20:00

題 目：匿名署名と電子投票・電子現金への応用

講 演：鈴木幸太郎氏（NTT 情報流通プラットフォーム研究所）

担 当：岡本健（リスク工学専攻）

問合せ先：村尾修（TEL5370）

U R L：http://www.risk.tsukuba.ac.jp/meeting/rerm/index.html

RERMの趣旨等は，上記をご覧ください。多数の方々の参加をお待ちしています。

筑波大学と附属小中高等学校体育・保健体育科合同研究会の開催について

筑波大学と附属小・中・高等学校体育科・保健体育科では、小・中・高の授業の一貫性について検討を重ねていますが、この度、小・中・高が一堂に会する授業公開及び研究協議を次により開催します。皆さまの参加をお待ちしています。

主催・企画：筑波大学，附属小・中・高等学校体育・保健体育科

テーマ：小・中・高「保健体育科」授業の一貫性について考える
- “体づくり”と“動きづくり”を中心に -

日時：平成18年2月25日（土）9:30～16:10（受付は9:00から）

場所：附属中・高等学校（東京都文京区大塚1-9-1）

参加費：1,000円（資料代等） 学生無料

内容：

公開授業 9:30～13:20（途中，昼食休憩を含む。）

9:30～10:15 小学校：平川譲教諭（附属小学校）4年 体づくり・縄跳び

10:30～11:20 中学校：長岡樹教諭（同）2年男女 トレーニング单元

12:30～13:20 高等学校：中塚義実教諭（附属高等学校）1年男/女 トレーニング单元

研究協議 13:40～16:10

司会進行：山本悟教諭（附属小学校）

授業者：平川譲教諭，長岡樹教諭，中塚義実教諭

指定討論者：木下光正教諭（附属小学校），小山浩教諭（附属中学校），貴志泉教諭（附属高等学校）

申込み方法：参加希望者は，FAX又はE-mailにて問合せ先へ連絡ください。

事前連絡ができない場合は，当日受け付けで結構です。

問合せ先：附属中学校 関野智史教諭

（TEL03-3945-3231(代)，FAX03-3945-3886）

（E-mail:tsekino@high-s.tsukuba.ac.jp）

第10回茗溪・筑波グランドフェスティバルの開催について

筑波大学とその前身校の卒業生と在学生在が交流を深める場として，開催されてきました「茗溪・筑波グランドフェスティバル」を，次により開催しますので，ふるってご参加ください。

日時：平成18年1月14日（土）10:00～19:00

プログラム：

10:00～13:00：筑波大学内研究施設見学ツアー（事前予約者のみ）

陸域環境研究センターと先端学際領域研究センターを見学

13:30～16:00：次の企画は，同時開催です。

・場所：大学会館国際会議室

演題：日本一実践的な講義～アイデアの構造～

講演者：松本侑子氏，大根田修氏，渡辺和博氏

・場所：大学会館特別会議室

「つくばではたらく」～つくばWorkerの今・これから～

パネラー：上原健一氏，河口宗央氏，小野寺清氏

コーディネーター：蓮見孝氏

16:15～16:45：第10回記念式典（大学会館ホール）

17:00～19:00：懇親会（第一学群食堂）

立食パーティー，サークルパフォーマンスなど。

参加費：社会人10,000円（事前8,000円），学生1,500円（事前1,000円）

問合せ先：〒305-0005 つくば市天久保3-10-7 学園都市ビル3階

紫峰会 [筑波大学学生後援会]

（E-mail：mtgf@shihoukai.gr.jp）

（TEL029-852-8572，FAX029-852-4158）

URL：http://www.shihoukai.gr.jp/~mtgf/

星野靖雄教授及び平沢照雄助教授指導の人文社会科学研究所2年中橋亮樹氏が第8回経営行動科学学会年次大会で奨励研究賞を受賞

授賞式会場での星野靖雄教授（右）と中橋亮樹氏

星野靖雄教授（システム情報工学研究科，社会システム・マネジメント専攻）及び平沢照雄助教授（人文社会科学研究所，社会科学専攻）指導の人文社会科学研究所2年中橋亮樹氏が，第8回経営行動科学学会年次大会において「航空産業における企業の合併と提携に関する研究」により奨励研究賞を受賞しました。



この賞は，経営組織，組織行動，国際企業経営に関する優れた研究や将来有望な研究に発展すると評価されたアイデアや研究モデルを提示した若手研究者に与えられるものです。

藪野浩司教授にアメリカ機械学会から感謝状



藪野浩司教授（システム情報工学研究科，知能機能システム専攻）が，9月24日～28日にかけてアメリカの Long Beach でおこなわれた 20th Biennial Conference on Mechanical Vibration and Noise における貢献を称えられ，アメリカ機械学会（ASME）から感謝状を授与されました。40年目を迎えるこの会議は，世界各国の機械振動関係の研究者が一堂に会するものです。

渡部修教授が日本機械学会の第2回標準事業貢献賞を受賞

渡部修教授（システム情報工学研究科，構造エネルギー工学専攻）が，日本機械学会の第2回標準事業貢献賞を受賞しました。



この賞は，日本機械学会標準事業部会が企画するもので，日本機械学会の基準〔規準・規格・指針類，国際標準（ISO）原案，日本工業規格（JIS）原案等〕の作成，または普及活動における顕著な貢献をした個人を表彰するものです。

渡部教授が，原子力専門委員会委員長として日本機械学会の基準策定に貢献し，標準の普及にも貢献したため，11月24日に日本機械学会で表彰式が行われました。

田中秀夫教授が日本生物工学会の生物学賞を受賞

田中秀夫教授（生命環境科学研究科）は「培養装置の開発とその実用的利用」の研究により，2005年度の生物学賞を11月15日の日本生物工学会で受賞しました。

この賞は日本生物工学会（会員数4,050名）において，生物学の分野で高度に顕著な業績を挙げた研究者に対して，最高の学会賞として授与するものです。

田中教授は（微）生物関連産業の基礎を支える生物化学工学の基礎から応用まで幅広い研究を行い，特に，生物（微生物・植物）細胞の培養装置で，世界的に顕著な業績を挙げています。中でも，

- 1 微生物による有用物質生産に関する小規模培養装置（数ℓ）から大規模培養装置（数100kℓ）への新規スケールアップ法の開発とその工業的利用
- 2 開発した植物細胞用培養装置による，世界初の植物代謝産物の工業生産（バイオ口紅の原料，シコニン）

などが著名です。



受賞の理由は，従来から用いられてきた好気性微生物用の培養装置の設計やスケールアップ法が細胞への酸素供給能に基づいて主に行われてきたのに対し，細胞の酸素消費特性だけでなく，種々の特性を総合的に配慮し，利用目的とする細胞機能を十分に発揮させることが可能な新規な培養装置を開発し，その実用的利用を図るなど生物学の分野の発展に対して，大きく寄与したことによるものです。

吉野邦彦助教授が国際水田水環境工学会 PAWEES Paper Award 2005を受賞

授賞式場にて
吉野邦彦助教授は中央

吉野邦彦助教授（システム情報工学研究科）は、“Differences in plant canopy bi-directional reflectance factors among rice varieties”の論文賞により、国際水田水環境工学会（International Society of Paddy and Water Environmental Engineering）の学術雑誌“Paddy and Water Environment”（Springerから刊行）の2005年度の優秀論文賞である PAWEES Paper Award 2005を受賞しました。



この賞は、前年度に同誌に掲載された論文の中から、論文賞選考委員会により選ばれた、極めて質の高い論文を表彰するものです。

吉田謙太郎講師，高谷直樹講師が財団法人農学会の平成17年度日本農学進歩賞を受賞

吉田謙太郎講師（システム情報工学研究科）と高谷直樹講師（生命環境科学研究科）は、それぞれ財団法人農学会の平成17年度（第4回）日本農学進歩賞を受賞しました。

この賞は、人類と多様な生態系が永続的に共生するための基盤である農林水産業及びその関連産業の発展に資するために、財団法人農学会が農学の進歩に顕著な貢献をした40歳未満の研究者に対して顕彰するもので、筑波大学での受賞は、今回が初めてです。

吉田講師は、研究課題「農業の多面的機能と食品安全性、グリーン・ツーリズムの計量分析」で、農業と環境に関連する多面的機能やツーリズム、食品安全などの新たな政策課題について、計量分析モデルを適用した研究を進展させた点が評価されました。高谷講師は、研究課題「糸状菌の低酸素応答・適応機構の解明」で、農業あるいは発酵・醸造産業上必要なカビを用いた研究により真核生物の呼吸・発酵やミトコンドリの成り立ちと進化を考察した点が評価されました。



吉田謙太郎講師



高谷直樹講師

植田琢也講師が平成17年度（財）桐仁会設立10周年記念臨床医学研究助成金に採択される

植田琢也講師（人間総合科学研究科，臨床医学系，放射線診断・IVR診療グループ）は、研究課題「造影CT灌流画像の流体数理解析による腫瘍血管新生解析プログラムの開発と臨床応用」により、平成17年度（財）桐仁会設立10周年記念臨床医学研究助成金に採択されました。



この助成金は、附属病院内の財団法人桐仁会が、平成10年に設立10周年を記念し、附属病院における臨床医学に係る研究に対して奨学寄附金として助成して以降、毎年1件に対し助成しているものです。

今回採択された研究は、18件の応募の中から選考されたもので、放射線診断・IVR診療グループの南学教授（人間総合科学研究科）、森健作講師（同）らとの共同研究です。

稲月一高技術専門官，櫻井けい子看護助手が医学教育等関係業務功労者表彰を受賞

稲月一高技術専門官（人間総合科学等支援室，医学支援室，生命科学動物資源センター）及び櫻井けい子看護助手（附属病院看護部）が平成17年度医学教育等関係業務功労者表彰を受賞し、11月21日文部科学大臣から表彰されました。

この表彰は、国立、公立及び私立の大学における医学又は歯学に関する教育，研究若しくは患者診療等に係る補助的業務に関し顕著な功労のあった者について、



学長との記念撮影（左から、櫻井けい子看護助手，岩崎洋一学長，稲月一高技術専門官）

その功労を讃えるものであり、長年にわたり業務に精励し他の模範とするに足る功績を上げたことが評価されたものです。

この表彰について、11月25日岩崎洋一学長に報告し、学長からこれまでの功労に対し励ましとねぎらいの言葉がありました。

田村恵美副看護師長が社団法人日本看護協会の小児専門看護師として認定される

附属病院看護部の田村恵美副看護師長が、(社)日本看護協会の専門看護師認定審査に合格し、「小児専門看護師」としての認定を受けました。

専門看護師制度は、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して水準の高い看護ケアを効率よく提供するための特定の専門看護分野の知識及び技術を深めた専門看護師を社会に送り出すことにより、保健医療福祉の発展に貢献し併せて看護学の向上を図ることを目的とするものです。



制度発足後10年を経過し、認定者は全国で139名(うち小児看護分野は15名)となりましたが、特に小児看護分野では、通常、大学院での専門看護師教育課程修了後3年の実務経験を要しており、今回の田村副看護師長の1年での認定は、まさに快挙といえます。なお、専門看護分野には、小児看護のほか、がん看護、精神看護、地域看護、老人看護、母性看護、成人看護[慢性]及びクリティカルケア看護があります。

酒井宏助教授指導の理工学研究科修了青木奈津子氏が映像情報メディア学会の研究奨励賞を受賞

酒井宏 助教授(システム情報工学研究科, コンピュータサイエンス専攻)指導の理工学研究科(平成17年3月修了)青木奈津子氏は、研究発表「陰影からの奥行き



知覚を促進させる画像中のホワイトノイズ特性の検討」により、映像情報メディア学会の研究奨励賞を受賞しました。

この賞は最近1年間に発表された研究(796件)から、各分野で最も優秀なもの(13件)に授与されるものです。

青木氏の研究が、通常は邪魔者にされるノイズが、実は陰影からの3次元知覚を促進していることを示したもので、その独創性が高く評価されました。

附属聾学校卓球部が第42回全国聾学校卓球大会で一部女子団体準優勝、二部専攻科男子3位入賞

11月18日~20日までの3日間にわたり、群馬県前橋市民体育館で第42回全国聾学校卓球大会が行われました。



その結果、附属聾学校卓球部が次の2種目で入賞を果たしました。

一部女子団体：準優勝

加藤志菜さん、本村真生さん、森田智子さん、定野和沙さん、八百谷美希さん、山本佐和子さん

二部専攻科男子個人戦：3位

後藤勝君

筑波大学走友会が第13回文部科学省関係機関教職員駅伝大会で4連覇

10月29日に、皇居周辺で開催された第13回文部科学省関係機関教職員駅伝大会において、筑波大学から3チームが参加し、Aチームが大会4連覇の偉業を達成し、通算6度目の優勝となりました。



レースは、13:30に皇居桜田門前を参加41チームが一斉にスタート。連覇を狙うAチームは1区を7位と出遅れたものの、2区で2位に順位を上げ、3区で一旦順位を下げるも4区で再び2位に浮上。最終5区にタスキが中継された時点でトップ文部科学省Aとの差は36秒。固唾を飲んで見守る中、連覇への望みは小池健一さん

(数理物質科学研究科，講師)に託されました。小池さんは期待に応え2キロ付近で先行する文科省Aを捕らえましたが，過去4度の優勝を誇る5区の区間記録保持者を擁する九州大学が追いつき，史上まれにみる三つ巴の激戦となりました。終盤ロングパートをかけた小池さんが九州大学の反撃を絶ち，奇跡の逆転優勝を果たしました。

その他，筑波大学Bが9位，筑波大学Cが26位の成績を収めました。

筑波大学走友会では，記録を目的とするばかりでなく，ランニングを生涯スポーツとして取り組み，教員，事務系職員だけでなく，副学長から名誉教授，技術系職員に至る幅広い職業層によって構成されており，ランニング以外にも有益な情報交換の場を提供しています。

興味のある方は，就職課・横瀬（myokose@sec.tsukuba.ac.jp）までご連絡ください。

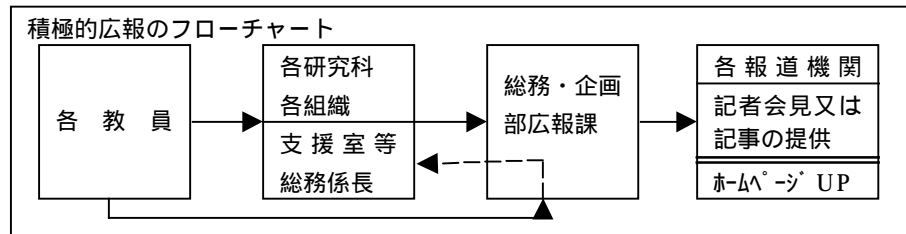
教育研究等の成果の情報提供の
お願い

筑波大学の広報活動における報道対応については，日頃ご協力をいただいているところではありますが，国民からは，大学が社会への変化に敏感に対応し，社会に対して積極的にかかわっていくことが強く求められています。

筑波大学においては，これまで社会に対して教育研究等の成果の発信に努めているところではありますが，法人化後は，広報活動を通じてより広く社会に対して積極的に情報発信する必要があると考えております。

つきましては，この趣旨をご理解いただき，積極的に広報する事項（各研究分野において国際的に評価の高い学術雑誌等への発表等を含む。）がありましたら，下記フローチャートを参考にして，支援室等事務担当にご一報いただけるようお願いいたします。

なお，情報の提供に当たっては，説明資料の作成等にご協力願います。



平成17年11月に制定された法
人規則等一覧

平成17年11月に制定された次の法人規則等の全文については，筑波大学ホームページの「広報・公開」でご覧になれます。

国立大学法人筑波大学における役員の報酬等に関する規則の一部を改正する法人規則

国立大学法人筑波大学本部等職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則

国立大学法人筑波大学附属病院職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則

国立大学法人筑波大学附属学校職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則

国立大学法人筑波大学本部等非常勤職員の勤務時間及び報酬に関する規則の一部を改正する法人規則

国立大学法人筑波大学附属病院非常勤職員の勤務時間及び報酬に関する規則の一部を改正する法人規則

国立大学法人筑波大学附属学校非常勤職員の勤務時間及び報酬に関する規則の一部を改正する法人規則

国立大学法人筑波大学本部等職員の手当に関する規程の一部を改正する法人規程

国立大学法人筑波大学附属病院職員の手当に関する規程の一部を改正する法人規程

国立大学法人筑波大学附属学校職員の手当に関する規程の一部を改正する法人規程

程

国立大学法人筑波大学大学教員の任期に関する規程の一部を改正する法人規程

国立大学法人筑波大学科目等履修生細則の一部を改正する法人細則

国立大学法人筑波大学研究生細則の一部を改正する法人細則

「速報つくば」からのお知らせ

「速報つくば」の次回（通巻1115号）の発行は12月28日（水）、原稿締切りは12月21日（水）となります。

学内行事、イベント情報及び教職員サークル活動などの記事も募集しています。

なお、「速報つくば」への寄稿に際しては、次の事項に留意ください。

できるだけ電子メールや電子メールへの添付ファイル等にしてください。

表彰関係記載項目については、受賞者氏名、所属、受賞名、簡単な賞の説明、受賞対象論文名等（掲載誌のページ等は省略願います。）とし、授賞式の日時、場所等については、必要がある場合等を除き、省略願います。

シンポジウム等の開催案内でシンポジウム等の概要を記す場合は、なるべく400字以内としてください。

簡潔に記載してください。

採用させて頂いた原稿は、Web上に掲載しますので、ご了承願います。また、文教速報（官庁通信社発行）、文教ニュース（文教ニュース社発行）及びSTUDENTS（学生部発行）等からの情報提供依頼があった場合は、掲載情報（写真等を含む。）を提供しますのでご承知おきください。

「速報つくば」のhtml版及びPDF版は、次のアドレスでご覧になれます。

<http://www.tsukuba.ac.jp/koho/booklets/index.html>

学内ニュース、写真の提供及び掲載内容へのご意見は広報課（TEL2065，FAX2014）へお願いします。

E-mail：sokuho@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

電子メールで寄稿された方には、「速報つくば」より原稿受付等の返信メールをお送りしますので、ご確認ください。なお、返信メールが届かない場合は、お手数でも広報課までご連絡いただきますようお願いいたします。

平成17年度福利厚生施設冬季休業期間営業日程表

◎通常営業 ▲縮小営業 一休業

施設名称等		12月										1月									短縮営業時間
		23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
		金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月		
第一学館	食 堂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	喫 茶 (4F)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	書籍・文具	-	-	-	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	◎	◎	-	-			
	バス収容(後野)																				
第二学館	食 堂		▲		▲	▲	▲						▲	▲	▲						
	小 食 堂																				
	喫 茶																				
	書籍・文具																				
第三学館	食 堂				◎	◎	◎														
	ダンス・体育		◎		◎	◎	◎							◎	◎	◎					
	カフェ				◎	◎	◎														
	中 食		▲		◎	◎	◎							◎	◎	◎					
	和 食				◎	◎	◎														
	喫 茶				◎	◎	◎														
	書籍・文具				◎	◎	◎														
医学正門学館	食 堂				◎	◎	◎														
	喫 茶				◎	◎	◎														
保健学館	書籍・文具				◎	◎	◎														
	バス収容(後野)																				
体育・芸術専門学館	食 堂(1階)																				
	食 堂(2階)																				
	画 材 等		◎																		
	写真・スポーツ																				
	バス収容(後野)																				
国際情報学館	食 堂				◎	◎	◎														
	書籍・文具				◎	◎	◎														
木 部 棟	食 堂				◎	◎	◎														
	バス収容(後野)																				
大 学 館	レストラン(1F)				◎	◎	◎														
	カフェ(4F)				◎	◎	◎														
	書籍・文具				◎	◎	◎														
	画 材 等				◎	◎	▲														
工 学 部 棟	食 堂			◎	◎	◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎			
	喫 茶		◎		◎	◎	◎									◎	◎				
	カフェ・バー				◎	◎	◎														
	電気店(習熟)	◎	◎	◎	◎	◎	◎						◎	◎	◎	◎	◎	◎			
	理 容 (後野)	◎	◎	◎	◎	◎	◎						◎	◎	◎	◎	◎	◎			
計 画 部 棟	浴 場	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
	食 堂				◎	◎	◎														
	浴 場	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
	美容	◎	◎	◎	◎	◎	◎														
一 切 大 学 部 棟	バス・タクシー				◎	◎	◎														
	日 本 車	◎	◎	◎	◎	◎	◎										◎	◎			
	食 堂				◎	◎	◎										◎	◎			
	電気店(CAFÉ)				◎	◎	◎						◎	◎	◎						
一 切 大 学 部 棟	理 容 (後野)	◎	◎	◎	◎	◎	◎										◎	◎			
	浴 場	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
	自転車修理																				